

多良山系境川峡谷 轟の滝沢登り



山で泳いでます

爽やかで涼しくて「超・気持ちEー」の世界へ

河童になった気分で!



山で泳ぐのは気持ちいいですよ。水がきれいです。

沢の流れは緩やかなところや急流もあり、のんびりと沢を泳いで渡ったり、逆に強い流れに逆らい、滝の岩の壁をよじ登ったりします。
広い滝つぼを泳いで渡る時はためらっても起きますが「カツバさん、溺れないようによろしくお願ひします。」とマジナイしてドツブんと飛び込みます。すると背負っているリュックサックが浮き袋の役目をしてくれるので沈むことはありませんし、ザイルを体に通して安全も図っているので大丈夫です。
キラキラとエメラルド色に輝く水の中は体が宙に浮いているような錯覚を覚えます。



「キャー、流される」と狭い岩場を凄技でスルスルと登りあがるEmily女史



深いところも平泳ぎでスイスイ

〈参加者の一言〉
山人会の原田です。今回は沢登りについてご紹介します。夏季の九州の山登りは暑いので、この時期、僕たちは清涼を求めて沢登りをします。一度やると、これがやみ付きになってしまい、「大人の水遊びだー!」なんてみんな夢中になってしまいます。それでは、今日も元気にLet's Go!

▼メンバー リーダー 松林茂光 サブリーダー 原田大治 他11名

沢登りには特殊な靴を履いています。形はバスケットシューズのようですが、靴底にはフェルトという素材がついているために、水はけがよく、苔がついて滑りやすくなった岩の上も安心して歩けるようになります。そして、やはり滑ったときのためにヘルメットやグラブを装着します。



スリリングで楽しいですよ!

垂直な滝を登らなければならぬときは、体に装着しているハーネスという安全ベルトにザイルを取り付けて登って行きます。このザイルはみなさんどれくらいの強度があると思われませんか? 直径は1cmほどですが、1:5の重量を支えることができます。強いでしょう!

▼岩の上で安全を指示し、次の段取りを思案しているKondou氏



▲滝を登っているKondou氏と泳いでいるMatubayasi氏



不動の滝

▲泳いで先にある滝の右側から登りつめていきます。滑落者も多い所。



「広いナー!」「俺が一番に行くバイ!」「私が一番ヨー!」

↓沢登りの昼食は、沢の水でソーメンをします。薬味は山芋にキムチ、そしてシヨウガなどたくさん入れて食べます。すると体の新陳代謝が良くなり、グリーンと元気が復活していきます。
まだまだ、ジャングルのような冒険は続きます。



▲沢の水を沸かし、ソーメンを湯掻きます。



▲「コリヤー美味カー!」のIwanaga氏



▲Koyanagi姫による秘儀、沢のツタ渡り

山行予定

平成23年10月30日	紅葉観賞登山「英彦山」
平成23年11月20日	源流探索「宝満山」
平成23年12月11日	忘年登山「英山～黒髪山」

※参加ご希望の方は、山人会事務局までお気軽にお問い合わせください。

▶事務局・事務所
大川市大字向島 坂井方 ☎0944・87・8645
事務所 松林方 ☎0944・86・3632 FAX 0944・86・6203

大川山人会 会長 長尾敏郎

